



食事の時間がおらおらでも 同じ空間で家族と過ごせるようになりました。

田原市 Y邸

BEFORE



リフォームの目的

築30年の住まいは家全体に傷みが見られ、特にキッチンの状態が酷い。大工さんが立派な材木を使って建ててくれたので昔ながらの和の雰囲気を残しておきたいけど、部屋全体の暗さは解消したい。

設計・施工のポイント

キッチン背面には調味料やキッチン家電を置けるニッチを設け、取り出しやすい収納を増やして使い勝手を向上させました。「リビングとして使っている和室には愛着があるので残したい」と望まれていたので、部屋を暗く感じさせていた天井や柱の汚れを洗い出しで落として明るく改善し、既設の内装を残しました。

AFTER



DKとリビングの仕切り戸を壁の中に納まるように変更。LDKの一体感が高まり家族が違うことをしていても同じ空間で一緒に過ごせる。



長年の汚れにより黒ずんで見える天井と柱を洗い出しでリフレッシュ。新築のように明るい空間に。

工事中は家の一角に仮住まいしていたからよく工事の様子を見ていましたが、床の張り替えて表面だけ取り換えるわけじゃないんですね。下地も全部外して床下までちゃんとやってくれたから、誠実に仕事してくれてるなって感じました。工事が始まってからも気にかけてくれたから、小さなことでも気になることは遠慮せずに聞けました。



ご主人が魚を捌く際に十分な作業スペースを設けるために、一般的なキッチンより50cm横幅が大きいサイズを選択。夫婦2人でキッチンに立っても広々作業ができて快適。